

災害後の母子保健対策に関する研修会（WEB 開催）

東日本大震災から 10 年が経ちました。発災後の急性期はもちろん、中長期にわたって母子保健上の健康問題が継続していることから、令和元年度- 2 年度成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）災害に対応した母子保健サービス向上のための研究により、**災害後の中長期的な母子保健対策マニュアル（当事者/一般向け）** および**災害後の中長期的な母子保健対策マニュアル（専門職向け）** が作成されました。

本研修会ではこれらのマニュアルに基づいた内容をお伝えいたします。

公益社団法人 日本小児保健協会 災害後の母子保健検討委員会

日 時：令和 4（2022）年 1 月 29 日（土）13:00～16:30（12:30 ログイン受付開始予定）

開催方法：Zoom を用いた WEB 開催（オンデマンド配信は予定しておりません。）

対 象：母子保健業務携わる行政の方、災害対策に興味がある一般の方

申込方法：申込フォーム（<https://forms.gle/xt45T13dJ85Ae8fR6>）よりお申込みください。

参加費：無料



<プログラム>

- 13:00～13:05 開会あいさつ
小枝 達也（日本小児保健協会会長、災害後の母子保健検討委員会 担当理事）
- 13:05～13:35 災害時における周産期医療と母子保健の連携
菅原 準一（東北大学大学院医学系研究科母児医科学分野 教授）
- 13:35～14:05 災害時の妊産婦や乳幼児の地域保健ニーズと保健師に期待される役割
奥田 博子（国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 上席主任研究官）
- 14:05～14:35 災害時の妊産婦や乳幼児の食・栄養ニーズと栄養士に期待される役割
笠岡（坪山） 宜代（国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
国際栄養情報センター 国際災害栄養研究室 室長）
- 14:35～14:45 （休憩 10 分）
- 14:45～15:15 災害時の乳幼児と保護者のニーズと保育教育専門職に期待される役割
安梅 勅江（筑波大学 医学医療系 教授）
- 15:15～16:00 災害時の子どものこころのケアについて
村上 佳津美（社会医療法人啓仁会 堺咲花病院 副院長、部長）
- 16:00～16:20 乳幼児健康診査の指標から見えること
山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター 非常勤医師）
- 16:20～16:30 閉会あいさつ

※敬称略

【本件連絡先】

公益社団法人 日本小児保健協会事務局

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 12-1 トナカイ神田タワー9 階

TEL：03-3868-3093/FAX：03-3868-3092/E-mail：jsch-soc@umin.ac.jp